

# 都立光丘 高等学校 令和7年度（3学年）教科

# 公民 科目 政治経済

教科：公民

科目：政治経済

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

使用教科書：「最新政治・経済」実教出版

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多

科目 政治経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	・国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動について学習し、国際政治と日本の関係について考える。 ・前提となる歴史総合の学習内容についても、十分復習をする。	・指導事項 第1編 現代の政治 第5章 現代の国際政治	【知識・技能】 国際連合の専門機関などの活動が、人類の福祉に大きな貢献をしてきたこと、国際連合による平和維持活動が世界の平和に大きく寄与していることについて理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。	○	○		13
	・東西冷戦終結後の国際政治について学習し、国際政治と日本の関係について考える。 ・軍事力や力の政治による国際問題の最終的解決は不可能であり、国連をはじめとする多国間での協議の必要性が高まっていることを理解させる。 ・前提となる世界史Bの学習内容についても、十分復習をする。	・指導事項 第5章 現代の国際政治	【知識・技能】 ・冷戦構造の概要について理解している。 ・冷戦終結後に生じた国際政治上の力学変化について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 冷戦終結後に地域・民族紛争が多発したことについて、その要因を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代国際政治の動向について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	・核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。 ・軍事力や力の政治による国際問題の最終的解決は不可能であり、国連をはじめとする多国間での協議の必要性が高まっていることを理解させる。 ・前提となる歴史総合の学習内容についても、十分復習をする。	・指導事項 第5章 現代の国際政治	【知識・技能】 ・NPTに参加しない国があることや、CTBTの発効の見通しが立たない状況など、核廃絶に向けて課題が残されていることを理解している。 ・核兵器禁止条約の歴史的意義について理解するとともに、核保有国や日本が参加していない理由や課題についても理解している。 【思考・判断・表現】 安全保障のジレンマを乗り越えて軍縮を進めていくためには何が必要となされるか、考察を深めている。 【主体的に取り組む態度】 核兵器と軍縮について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

